

【イベント名】

令和7年度いきいきキャリアスタート事業 宮城県小牛田農林高等学校

【開催概要】

開催日

令和7年12月8日（月）

時間

9:55～11:45

場所

宮城県小牛田
農林高等学校

参加人数

1年生 190名

主催 宮城県

共催 宮城県小牛田農林高等学校

プログラム

- 09:55～ 流れの説明（5分）
宮城県小牛田農林高等学校
- 10:00～ 第一部「男女共同参画 基礎講座」（20分）
宮城県環境生活部 共同参画社会推進課
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄
- 10:20～ 第二部「ゲストトーク」（25分）
宮城県東部地方振興事務所 技師 平 龍之輔さん
登米市迫総合支所市民課 保健師 千葉 笑美花さん
ファシリテーター
NEXT-STAGE 代表 大高 智佳子さん
- 10:45～ 休憩（10分）
- 10:55～ 第三部「ワークショップ」（50分）
※各クラス（1組～5組）
- 11:45 アンケート回答後、終了

第一部「男女共同参画基礎講座」

宮城県環境生活部 共同参画社会推進課 男女共同参画推進専門監 大沼 史柄

就職後の生活を据えようと、ワークライフバランスが重要である。ワークライフバランスとは仕事と生活の調和であり、私生活の充実が仕事の質の向上にもつながると伝えた。データから、日本では女性が結婚・出産期に就業や正規雇用を離れやすく、男性は長時間労働により家事・育児への参加が少ない現状が示され、その背景に性別によるアンコンシャス・バイアスがあると指摘した。

男女共同参画社会とは、性別に関係なく誰もが意欲に応じて活躍できる社会。国や県では育児休業制度の拡充や、女性活躍・両立支援に取り組む企業認証制度を整備しており、将来の進路選択ではこうした視点を持つことが大切だと伝えた。



第二部「ゲストトーク」

<卒業生ゲスト：宮城県東部地方振興事務所 技師 平 龍之輔さん・登米市迫総合支所市民課 保健師 千葉 笑美花さん>

○ 進路選択のきっかけ

（平さん）中学時代、震災復興に携わる土木作業員を見て憧れを持った。高校2年で「公務員」という選択肢を知り、進路を変更し夏休みに集中して勉強、先生方のサポートを受けて合格した。安定した職業で家庭を支えたいという思いも進路決定の要因。

（千葉さん）小学生時代、祖父の入院で看護師の姿に感銘を受け、医療職を志望。高校1年終わり頃から進路を意識し、大学進学を決断。地域住民の健康を守りたいと思い、保健師を選択した。先生方の助言を受けながら大学を決定。

○ ワークライフバランス

（平さん）業務外のことに積極的に挑戦し、経験値を積む姿勢を大事にしている。実際の仕事は現場よりも事務作業が多く、イメージとのギャップがある。家事は夫婦で分担し、「できる方がやる」という考え方。仕事とプライベートを明確に分けている。

（千葉さん）地域住民との交流を重視し、体験を通じて成長できていると感じている。職場は女性が多く、子育て世代を支える体制が整っている。休日は休養と気分転換を意識してメリハリをつけている。

○ 職場環境と価値観

（平さん）有休取得に関して世代間で意識の差があるが、若手は積極的に休みを取る傾向。

（千葉さん）保健師の職場は女性が多く、子育て支援の文化が根付いている。男女の役割にとらわれず「人と人として協力する」姿勢が重要だと思う。

《 後輩へのメッセージ》

（平さん）どんな経験も必ず将来につながる。学校生活でもプライベートでも多くの挑戦を。

（千葉さん）高校生活はあっという間。部活動や受験で得た経験は社会人になって力になる。周囲の支えを受けながら充実した高校生活を送ってほしい。



第三部「ワークショップ」

各クラスにファシリテーターを配置し、ワークシートに記入、班ごとに意見交換を行った。

第一部の男女共同参画基礎講座と、第二部のゲストトークを聞いての感想や、将来のことにしてもそれぞれ記入した。

《生徒の感想※一部抜粋》

●男女共同参画を進める上で、どのような取り組みが必要だと思いますか。

・見た目ではなく仕事の出来や適材適所で考える。

●ゲストトークの感想

・二人の話を聞き、私も今から将来のために勉強して準備していきたいと思った。

●ワークショップの感想

・あまり明確にできていなかったなりたい職や、やりたい事を少しでも明確にすることができたと思う。

・違う人たちの意見や自分が気が付かなかったことに気付いて、いい時間になった。

